

もみじ福祉会 ニュース

# がんばるや

2000年8月 第23号

発行 / 社会福祉法人

もみじ福祉会



知的障害者授産施設(通所) 第一もみじ作業所  
身体障害者通所授産施設 第二もみじ作業所  
グループホーム つばさ

〒730-0823 広島県広島市中区吉島西2-1-24  
TEL(082)243-0331 FAX(082)243-0497

### もみじ福祉会の目指すもの(骨子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達保障、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。



「がんばってね」の声に勇気モリモリ…(アルパークにて)

## 夢を形に さあふみだそう!

親の高齢化に伴い、介護負担が日に日に増大する中で、「親

**僕たち、私たちも  
資金づくりを**

が倒れても安心して暮らせる自分たちのホームを作りたい!」

「働きのながら地域の中で安心して暮らせる自分たちの拠点がほしい!」と願う仲間(利用者)たちの思いが強く、今年度、仲間たちの中で「生活施設建設のための資金作り委員会」がスタートし、その活動の第一弾として計画されました。

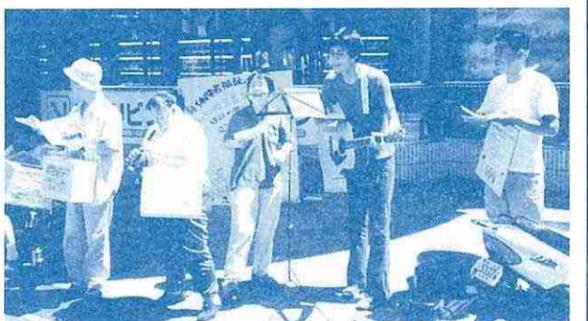
今回の募金活動は、建設資金を作る目的と同時に、より多くの人たちに自分たちの活動を知ってもらう、支援の輪を広げようという目的がありました。自分たちの思いをよりアピールするために、今回は「歌」を歌って盛り上げていくことになりました。

みんなが決めたテーマソングは、ともだちコンサートの取り組みの中で生まれた「チャレンジ」

「僕らの街にグループホーム  
わたしの街にグループホーム  
夢を形にグループホーム  
夢を形に身障ホーム  
さあふみだそう 勇気を出して  
さあ手をつなごう さあチャレンジ  
僕らの願いはみんなの願い  
みんなで歌えば夢はかなうさ  
この歌を毎朝みんなで歌い、  
カンパ活動への思いもふくらませました。

### さあ、 勇気を出して

そうして迎えた当日、勇気を出してみんなで訴えた夢は、「歌・チラシ・看板・メッセー



笛も吹いちゃいました(パルコ)

「いろいろな形になって道行く人の心に届いたようで本当に多くの募金が集まりました。手にしていたカンパ箱に初めて募金が入った時に「ありがと」と涙ぐんだ人、どうしたら少しでもチラシを受け取ってもらえるか人の流れを考えながら工夫した人、最初は恥ずかしかったけどだんだん大きな声を出せるようになった人、帰りに「自分たちも募金します。また今回のような取り組みがあれば声をかけて下さい」と快く言ってくれたボランティアさん、いろいろな人たちに支えられていることを実感する取り組みになりました。

この勢いを大切に仲間たちの夢である「身障ホーム・グループホーム建設」を1日でも早く実現できるようにこれからもがんばっていききたいと思えます。協力してくださった皆さん、本当にありがとうございます。募金総額一三五、四〇三円

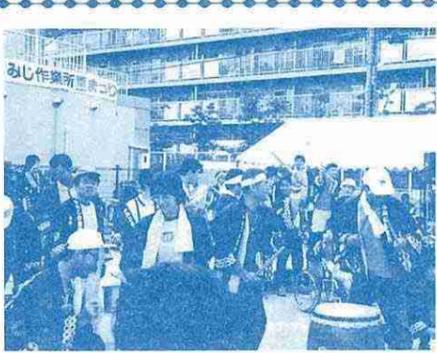
「歌・チラシ・看板・メッセー」募金総額一三五、四〇三円



右が伊世君(そごう前)

…主担当の仲間から…  
友だちのギターで  
元気が出ました  
伊世 伸一

夢が少し  
近づいた気持  
小坂 泰嗣



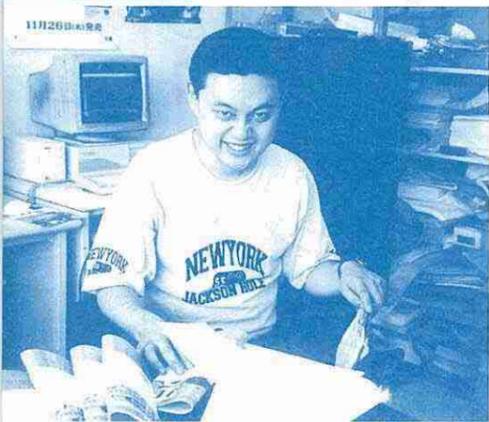
町御礼  
町の皆さんありがとうございます  
—もみじ ミレニアム 夏まつり—  
7/23

和太鼓ががんばってたね。コーラスもハーモニカもグッド。焼き鳥たこ焼きうまかったよ。くじで自転車があたったんよ。いつもの神楽しびれたね。でも、お兄さん大丈夫だったかな? にぎやかだったね。良かったね。応援出演の皆さん、ボランティアさん、お客さん、ほんとにありがとうございました。

僕らの友だちのストリートミュージシャンの人が二人来て、ともだちコンサートの歌をみんなで歌って、街頭カンパを盛り上げてくれました。たくさんの方がカンパに参加し、目標の十万円を大きく上回ることができて大成功でした。また、次回も街頭カンパを企画したいです。今回、目標の十万円を大きく上回る二十五万円が集まったことで、僕たちの大きな勇気になりました。夢が少し近くなった気がします。これも協力して下さった皆さんのおかげだと思っています。これからも二回目、三回目の街頭カンパ活動をしてともだちコンサートなどいろいろな身障ホーム・グループホーム建設のための取り組みを行っていきたいと思いますので、どうぞ皆様、今後ともご協力をお願いします。



発送作業は  
手際よく  
ダゼ!!



# 印刷 販売グループ

印刷・販売グループは、仲間九名・職員二名の授産グループです。その内、七名は重度身体障害者で車イスの仲間たちです。パソコンやタイプライターを使つてのカット製作やチラシ・名刺・ハガキなどの版下作り・印刷、パソコンソフトを使つての売上表・集計表・納品書作りなども行つています。パソコンを使用する時には、一人一人障害が違うので、それぞれの障害に合わせた周辺機器(トラックボール、キーボードカバー、ノンタッチキーボードなど障害者が使えるようにした機器)も準備し、障害が重くてもパソコンで仕事ができる工夫も行つています。

また、印刷に関する仕事以外でもシール貼りや発送作業などのいろいろな仕事にも取り組んでいます。

## オリジナル商品に 夢をこめて..

印刷グループでは、オリジナル商品の目玉としては夏にはTシャツ、冬にはカレンダーを作っています。もみじ作業所の仲間が描いたタイプライターやパソコンを使つてのカットや絵画をもとにデザインします。少しでもよるこんで買つていただけるすてきな商品を作ろうと印刷所や理事で絵の先生などの専門家のアドバイスも受けます。

また、昨年は初めて理事長の浜崎先生に協力していただき絵



Tシャツも もみじて!! 1700円♥

## 販売活動を 日常の仕事へ..

低賃金でもとても普段の給料からボーナス分をプールすることなんて出来なかつた仲間たち。世間では夏・冬はボーナスのことが話題になります。

自分たちだってボーナスがほしい!ボーナスで洋服を買いたい、貯金して旅行をしたい!普段の給料からボーナス分を作れないなら、その時期にボーナス資金作りとして販売活動

がスタートしたのは、もう十

ね、夏・冬のボーナス資金作りの他に今年度から、日常的な仕事として販売活動が位置付けこたになりました。

現在は、印刷・販売グループということで、印刷グループとドッキングした授産として十名の仲間たちがいろいろな販売戦略を練っています。

## 地域の中へ



現在の一番のメイン活動は、毎月第一水曜日に行つている「地域販売」です。地域の人たちにもみじ作業所のことをぜひ知ってもらおう、自分たちが地域にもっと出ていって、オリジナル商品をアピールしていこうというこで三月からスタートし、八月で六回目を数えました。

最初は、四時から言つてもパンが焼き上がり、お客さんをついぶん待たせてしまい、次の地域販売ではガクッとお客さんが減つたり、量が少なかつつかく買いに来ていただいても品物が無かつたりとついでに迷惑をかけることもありました。

これではいけないということ

で、時間厳守、またお客様に少しでもよるこんでいただける商品をとつと、カレーパンやピザなどの新商品も開発しました。八月二日の六回目では、



毎月第一水は「いばつしやーい」

品もほとんど完売。出張販売もおもしろい取り組みでした。

また、身体にやさしい商品開発をということで、うの花や国内産小麦使用の「きらず揚げ」(お菓子)やまめ茶などの仕入れ商品も増えました。

この七月には、きらず揚げ、まめ茶、ヨーグルトゼリー、花火などの商品を取り扱つて、カタログ販売にも取り組みました。

## 夢をもって



仲間たちはお店を持ちたい、営業にももっと出ていきたいと夢や思いはいっぱいです。しかし、販売活動を継続し発展させるには、販売品目の開拓、販路拡大、販売の仕方の工夫など課題はたくさんあります。

課題は山積ですが、何より人とのふれあいが魅力的な販売の仕事。仲間たち自身が自分たちの夢を大事に育て、大きく実らせることが出来るよう、課題にもひとつひとつチャレンジしていきます!

## 販売事務局の仲間から..

橋本 幸子さん



もみじ作業所のことを地域の人に知ってもらいたい、少しでもふれあいが出来るようにしたい、パンとかクッキーや自主製品を売っていききたい、身体にやさしい商品を何か考えてお客様によるこんで買ってもらえる品物を考えていきたい、これが販売への私の思いです。

木村 泉さん

はじめは、ただ物売って、給料やボーナスを増やそうと思つたけど、やってみ

今、僕はEメールにはまっています。毎日、作業所から帰つたらEメールを打っています。夢は日本中にたくさんメル友を作つて、いっぱいいっぱいメールのやりとりをすることが出来る、そして仲良くなつて色んなところに会いに行つたりもしたいな!

他には夢というよりも、現実に一日も早く身障ホームを作つてそこに入つて、ずっともみじに通い続け、みんなとふれ合いながら生活をしていきたいです。



「夢丘泰嗣・ゆめおかた いじ」というペンネームを持つ小坂さん。これまでの「ともだちコンサート」でも小坂さん作詞の素敵な歌を合唱しました。泣いたり笑つたり、表情豊かで愉快な仲間の一人です。

## 印刷・販売グループ 小坂 泰嗣 さん



## 行事日誌

- 6日 県立広島養護学校生徒・教員見学会
- 7日 小野寺氏見学会、地域販売デー
- 8日 宿泊訓練(10日)
- 10日 共作連全国大会参加 (11日)
- 12日 和歌山くろしお身障ホーム見学訪問
- 13日 修道大学川野氏見学会
- 15日 神奈川厚生学園より見学会
- 16日 さをりグループ陶芸展示会見学



ハンタッチ キーボードで入力 アゴを使ってブッシュ

画教室も開催し、絵の指導をしていただきました。仲間たちの表現がより豊かになり、素敵な絵に仕上がったことで、それをものに作ったカレンダーは大好評でした。

偶然、カレンダーを買われた方から「夢を感じ励まされる思いがします。」という手紙や、いつも横浜の遠方より注文して下さる方より、「ずいぶんすて

### グループホーム研修会

(久保田 勝也)

七月十一、十二日と熱海で開かれた、共作連グループホーム交流会に参加してきました。全国からグループホームの世話人をしてる人が集まりグループホームの課題や現状を話し合いました。グループホームの世話人の集まりということで、女性や年配の方が多いのかなと思っ

ていましたが、若い人や男性の方もたくさん参加しておりびっくりしました。 討議は各グループホームで行われている取り組みや問題点を

き仕上げができていますね。感動しました。」とわざわざ電話をいただいたりと、私たちの方こそ買って下さった方から暖かいメッセージを届けてもらい励まされる思いがしました。 これからも夢や思いをこめたオリジナル商品作りに取り組み、多くの人たちと繋がっていきたくらいなあと感じています。 悪天候の中でも楽しみに待っていて下さる人、近所誘い合っ

### 共作連広島県支部 若手職員研修

(池内 利美)

「人間らしい生活・人権、ノーマライゼーション」をテーマとして、講演を聞いたり、シンポジウムに参加したり、グループ討議を行ったりと、有意義な二日間でした。 グループ討議では、人権を守るといふことはどういうことなのか、働くことの意味は何か等

活発に意見を出し合いました。 その中で印象に残ったことには、 次の二点が挙げられます。 一つは、人権について考える時に重要であり基本となるのは、その人との信頼関係であるということ

## 研修報告

また、八月二日の地域販売の時には、同時に地域の中区社会福祉協議会にも出張販売に行かせてもらいました。いつも仲間がお世話になっているところ、ほとんどが顔なじみの人ばかり

「何かおすすめ?」「全部、おすすめよ」「うあ、何にしよるか」「今度はもう少し多目にパンを持ってきてや」と会話もはずみずみず。持っていた商



### もみじ福祉会 1999年度(平成11年度)会計報告

単位 千円

本部会計		貸借対照表	
流動資産	7,210	流動負債	37
固定資産	275,255	固定負債	45,500
		基金	222,094
		積立金	7,661
		繰越金	7,173
資産合計	282,465	負債純資産合計	282,465

収支計算書	
事務費支出	464
元利償還金	5,680
繰入金支出	500
積立金繰入	44
当期繰越金	4,551
合計	11,239

第一もみじ		貸借対照表	
流動資産	14,053	流動負債	3,454
固定資産	68,367	引当金	19,700
		運用財産基金	48,667
		繰越金	10,599
資産合計	82,420	負債純資産合計	82,420

収支計算書	
事務費支出	76,175
事業費支出	8,137
繰入金支出	1,200
引当金繰入	0
当期繰越金	1,583
合計	87,095

第二もみじ		貸借対照表	
流動資産	9,706	流動負債	2,350
固定資産	44,128	引当金	4,200
		運用財産基金	39,928
		繰越金	7,356
資産合計	53,834	負債純資産合計	53,834

収支計算書	
事務費支出	39,105
事業費支出	4,014
繰入金支出	600
引当金繰入	0
当期繰越金	1,478
合計	45,197



物を作る側と売る側とお客様の要望とがうまくかみあわないと販売が成り立たない、難しいと思う。 これからの夢はいっぱいあるけど、夢だけで終わらせないようにしようと思っ

### 泉本 寿範さん

地域販売をはじめて本当に良かったと思います。それは、直接お客様の声が聞けるからです。地域の人たちとも心やすくなった気がしています。それが地域販売をはじめて一番良かった事だと思いま

- 25日 一名見学者 愛護西部ブロック親善球技大会参加
- 28日 歯の衛生学習 (生協歯科ひろしま)
- 5日 生活自立訓練C-1(7日)、地域販売デー
- 6日 共同募金調査来所、あらくさ作業所より実習来所①
- 7日 あらくさ作業所実習②
- 8日 もみじ福祉会後援会第4回総会
- 9日 将来構想・街頭募金活動
- 11日 クラブ活動
- 12日 世良公則コンサート招待
- 14日 おりづる作業所見学者来所
- 16日 中区ボランティア祭り太鼓演奏・出店
- 17日 生活自立訓練D-1(19日)
- 18日 進徳高校見学者来所
- 23日 もみじ作業所第8回夏祭り
- 26日 岸和田ヤマダイホーム見学者来所
- 27日 五日市委の家見学者来所
- 28日 宿泊訓練(29日)

お知らせ 平成11年度の事業報告については、もみじ福祉会事務所に閲覧いただけます。

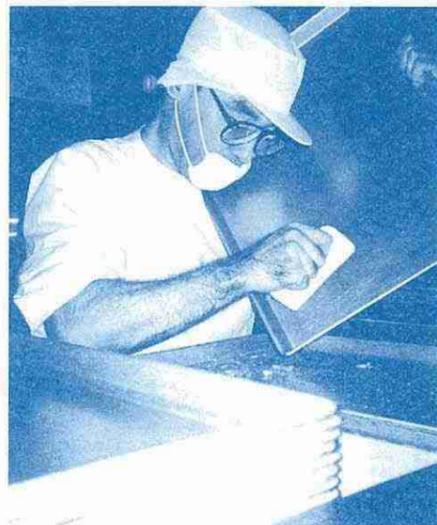
# 未加入率98%強はもう、個人の責任ではない!!

もみじ作業所に通う仲間鳥羽秀範さんは、大学四年生の時に遭遇した交通事故で、身体障害者手帳二級を所持する重度の身体障害や知的障害、記憶障害などを併せ持つ重度の重複障害者になってしまいました。

## 親亡き後の生活は?

現在、もみじ作業所もそうですが、重度障害を持った人たちが社会参加と生きがいの場として通っている多くの作業所では、親の老後や亡き後の本人の生活の場として身障福祉ホームやグループホーム作りに入れています。そして、通所者がそれらを利用する際の負担額は、概ね障害基礎年金程度が想定されています。障害基礎年金のない鳥羽さんの月々の収入は、「も

みじ作業所」で働いて得られる工賃(給料)一万円前後にすぎません。親亡き後の彼の生活を考えると、障害基礎年金の受給は欠かせません。鳥羽さんのご両親は、「国民年金制度が施行された学生が強制加入になるまでの四十年間、学生の年金未加入率は、九八%強と言われている。これは、個人のうっかりや不心得や、無知、怠慢の問題ではない」と国の周知義務違反と将来の生活への不安を訴えて、



クッキーの仕事に汗を流す、鳥羽さん



に納得できない」と社会保険審査会に対して再審査請求の取り組みを進めておられます。

審査は、その棄却決定の理由書の中で「受傷時から現在、将来にわたっての請求人及び家族の状況、心情、不安は、察するに十分なものである。また、学生等の国民年金の適用等については法の周知も十分であったとは言い難いものがある。」と述べ、私たちの主張に対して一定の理解を示しています。

現在、鳥羽さんは、同じような立場にある全国約四十名の方々とともに、「審査請求棄却

現在、介助無しでは一日とも生活できない鳥羽さんの暮らしは、定年を迎えた年金暮らしの

現在、もみじ作業所もそうですが、重度障害を持った人たちが社会参加と生きがいの場として通っている多くの作業所では、親の老後や亡き後の本人の生活の場として身障福祉ホームやグループホーム作りに入れています。そして、通所者がそれらを利用する際の負担額は、概ね障害基礎年金程度が想定されています。障害基礎年金のない鳥羽さんの月々の収入は、「も

不支給決定に対する審査請求を行いました。審査請求の結果は「棄却」となりましたが、県の社会保険審

## 後援会コナー

本年度、後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様 (敬称略)

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 桑原悦子  | 亀田咲子   | 重富 寛     |
| 山田竜也  | 小林礼子   | 木下 和     |
| 栗田朱美  | 常弘典男   | 三原捷宏     |
| 日山敏光  | 佐々木正子  | 北田和廣     |
| 対尾伴子  | 中野芳子   | 野々山朋子    |
| 吉光貴子  | 草羽俊之   | 野 泰 真    |
| 野津訓子  | 吉田浩士   | 牧野 滋     |
| 繁村ツヤコ | 藤解詮雄   | 外崎保男     |
| 藤葉忠彦  | 井上 亮   | 向井友江     |
| 堀 理世  | 石井孝典   | 八田達夫     |
| 飛 颯 恩 | 山岡靖子   | 中司登志美    |
| 山本峰司  | 岸田英里   | 井上一成     |
| 有田美由樹 | 内土井滋津子 | 中沢道成     |
| 円奈和子  | 広田隆雄   | 池田 光     |
| 加藤寛治  | 植田治子   | 堀 嘉津子    |
| 高田昌直  | 森原和子   | 野野康弘     |
| 秋信迪子  | 佐々木久子  | 湯谷和香     |
| 黒川浩平  | 中島幸子   | 中川繁子     |
| 坂 ちや子 | 入江佳子   | 海谷 穰     |
| 大内 宏  | 沖本雅春   | 末永 寛     |
| 寺川多恵子 | 児子俊子   | 背戸 喜     |
| 掛田イツエ | 佐藤節子   | 真多千 万    |
| 鈴木千賀子 | 安棟信雄   | 山本 進     |
| 白石禎三郎 | 新井光夫   | 山口 勇     |
| 溝本松彦  | 西田嘉男   | 堀 郁 卓    |
| 林 友三  | 坂本忠衛   | 沼田郁子     |
| 高山護三  | 田村和之   | 加藤 (全障研) |
| 高木里栄  | 串山陽三   | 吉島女性会    |
| 井上一郎  | 佐野幸夫   | ささき 酒店   |
- 吉島東学区社会福祉協議会 JR 西日本広島団体旅行支店  
株式会社 デイリンク なかよし保育園  
広島県立点字図書館 (南) 優 建  
フォード ジャパン リミテッド

## 「支援する会」 結成!!

この問題は、これまで何度か新聞やテレビなどにも取り上げられたこともあって、各地で支援の動きが広がっています。広島でも、「障害者と家族のくらしと権利を守る広島連絡会」「無年金障害者をなくす会」などを中心に「鳥羽秀範さんの障害基礎年金受給の実現を支援する会」が結成され、鳥羽さんたちの取り組みに対する支援が進んでいます。もみじ福祉会として

## 【入会のご案内】

- ・年会費)
  - ・個人(1口) 2,000円
  - ・団体(1口) 5,000円です。
- ・お問い合わせ先)
  - ・もみじ作業所内「鳥羽秀範さんの障害基礎年金の受給の実現を支援する会」事務局(久保)まで ☎082-243-0331
  - ・ご連絡いただければ、資料など送付致します。

## 第4回後援会総会 記念講演より

# 海くんも笑った。

海くんのお母さんの西原由美さんにおいで頂き、「海と歩んだ十年」と題した記念講演を頂きました。

西原海くんは九歳の男の子で現在養護学校の四年生です。海くんが一歳七カ月の時に事故に遭い、それまでの生活とは一転車イスでの生活を余儀なくされました。

講演では、海くんを取り巻くあなたか人々の輪、西原家の素敵な家族愛、そして何より、重度の障害を持ちながら

海くんと話す人の顔はみなやさしく、笑顔でした。そんな笑顔を自然と作りだしてくる海くん。これからも一緒に色々なことに挑戦していきましょう。そして、素敵な講演をしてくださった西原由美さん、本当にありがとうございます。

去る七月八日(土)光町にある広島県立障害学習センターにて約五十名余りの参加で第四回後援会総会が開催されました。

毎年、後援会総会では様々な方に講師としてお越し頂き、記念講演を頂戴していますが、今回は講師に、重度の障害を持つ西原

も一生懸命に一日一日を生きている海くんの瑞々しいまでの姿の断片にふれ、聴衆の皆さんも、「感動した。」「海くん、頑張ってくださいね。」とエールを送っていました。

当日は、海くん本人も会場に連れられ、講演を聞きに来られた方達と、ふれあっていました。

